

令和2年度事業報告書

1 事業の状況

概要

- 令和2年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大により、展示公開をはじめ記念館の運営に大きな影響を受けた。
- 緊急事態宣言発令に伴い臨時休館及び展覧会会期の変更を行った。
- 七宝体験教室及び茶会の開催を中止した。
- 緊急事態宣言解除後は、行政機関からの指導に従い、感染予防対策をとって事業を再開した。展示公開については文部科学省の感染拡大予防ガイドラインを参考に、当館の現状に即した対策を行った。
- 再開後はガイドラインを遵守しつつ、各種の調査・研究や関係機関等との協力、教育普及活動に努めた。
- 各種文化財等に指定、登録された七宝資料・建造物や庭園を、良好な状態で保存するとともに、特に建造物については耐震補強並びに修繕工事の事業の準備に着手した。

2 実施事業

(1) 公開・活用

① 展覧会の開催

種別	会期	タイトル	入場者数
春季 特別展	令和2年4月3日(金)～7月19日(日)	光輝ある並河七宝	919人 (1日平均約13.5人)
	臨時休館期間 令和2年4月12日(月)～6月1日(木)		
	会期延長期間 令和2年7月20日(月)～8月23日(日)		
	開催日数：68日間(79日予定から短縮)		
秋季 特別展	令和2年9月4日(金)～12月13日(日)	並河七宝の開花	1,746人 (1日平均約24人)
	開催日数：73日間		
合計	開催日数：141日間		2,665人 (1日平均約19人)
前年比	令和元年度開催期間：157日間		6,295人 (1日平均約40人)

② 七宝体験教室の開催（特別展及び庭園観賞を含む）

- ・緊急事態宣言および感染拡大予防のため中止
- ・中止に至る経緯

前年度の計画時には例年通りの開催を予定した。しかし、緊急事態宣言発令および新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮して解除後に開催日数を従来の4日間から2日間、定員を8名から5名に減らしての開催を検討したが、緊急事態宣言の延長を受けて中止を判断した。

	令和2年度事業計画 (令和2年3月時)	緊急事態宣言発令後の計画 (令和2年4月時)	緊急事態宣言延長後 (令和2年5月時)
開催日	令和2年5月10日、17日、 6月14日(日)、21日(日)、 計4日間(特別展開催中)	令和2年6月14日(日)、21日(日)、 計2日間(特別展開催中)	中止
講師	鈴木周子氏	鈴木周子氏	
定員	各日8名(合計32名)	各日5名(合計10名)	

③ 茶会の開催

- ・感染拡大予防のため中止
- ・中止に至る経緯

事業計画時は例年通りの開催を予定したが、緊急事態宣言発令および新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮して計画を見直し中止を判断した。

	令和2年度事業計画 (令和2年3月時)	緊急事態宣言発令に伴う計画の見直し (令和2年4月時)
開催日	秋季特別展開催中の1日 (休館日)	開催の可能性を探ったが、感染拡大予防を考慮し中止を検討した。
会場	並河靖之七宝記念館	並河靖之七宝記念館

④ 建造物・庭園の公開

- ・それぞれに国、府、市などの文化財となっている建造物や庭園を、前項①の公開事業に際しては文化財施設を活用した展示を行い、入館者に公開した。

種別	文化財の名称
建造物	国登録有形文化財
	京都市指定歴史的意匠建造物、 景観重要建造物および歴史的風致形成建造物
庭園	京都市指定名勝
地域	国重要文化的景観 京都岡崎の文化的景観

(2) 収集・保存など

収集

- ・並河靖之の製作にかかる七宝及び関係諸資料などの史資料収集・調査を継続

保存

- ・建造物および庭園など、その環境の適正で良好な保存、管理に努め、建造物については日向評議員にご教示を仰ぎ、耐震補強並びに修繕工事の事業の準備に着手した。

(3) 館藏品等貸出及び調査研究・交流など

① 館藏品等貸出

- ・展覧会名：「CONNECT→←」～芸術、身体、デザインを開く～展
会場：京都国立近代美術館
会期：令和2年12月3日（木）～12月20日（日）
作品および作品名：記念館庭園の水音、サウンドワーク「KYOTO AQUATOPE」
現代美術家・上村洋一氏作品制作へと公開の協力
*記念館庭園の水の音を一晩（閉館後の17時～翌日開館前の10時まで）収録し、その音源を使用した音の作品を制作しインターネットで公開したもの。
- ・展覧会名：国際交流基金海外巡回展「超絶技巧の日本」
会場：2021年1月20日より世界各地で行われている展覧会場にて
作品および作品名：展覧会展示映像（映像コンテンツ）「超絶技巧の系譜」
にて七宝ほか画像使用
動画配信用：同上に準じた画像（YouTube：2021年1月20日より10年間配信）

② 調査研究

- ・並河靖之七宝資料に関する目録台帳作成の継続
- ・京都工芸繊維大学への協力（「並河家実測及び図化の成果展」の展示継続）
- ・大学生の卒業研究への協力（京都女子大学2名、立命館大学1名）
- ・それぞれの研究者の研究へ協力
- ・「記念館だより」については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、七宝体験教室や茶会が中止されたこともあり、発行を見送った。

③ 交流

- ・茨城県立五浦美術館主任学芸員松尾敦子氏

(4) 教育普及活動

① 展示解説

- ・富田様 5人
- ・京都芸術大学通信教育部大学院 12名
- ・まいまい京都 20名
- ・京都外大 9名
- ・京都芸術大学 23名
- ・大阪朝日カルチャーセンター 11名
- ・国登録有形文化財所有者の会 20名

*当館は、庭園、建築、環境などの各方面からの関心もあり、学校教育、地域貢献等に関わる見学は、感染拡大予防の対策をしたうえで、可能な範囲で受け入れた

(5) その他の事業

① 周知・広報活動

- ・各所への展覧会ポスター、チラシの作成配布
- ・来館者向けの看板等の設置
- ・京都市営地下鉄の東山駅1番出口に記念館の案内板の設置
- ・記念館近隣商店の外構へのポスター掲示協力の依頼
- ・来館者用三つ折りパンフレットおよびチラシの地図修正

② 刊行物掲載

- ・雑誌、書籍
 - 『京都手帖』（2020年10月 光村推古書院編集部）
 - 『目の眼』10月号（2020年9月15日 株式会社目の眼）
 - 『並河靖之と明治の七宝業』（2021年2月 思文閣出版）
 - 『ANONA』（2020年10月 京都中央信用金庫 On Your Side 事業部）
 - 『別冊太陽』（2020年12月 平凡社）
- ・新聞
 - 「万国博覧会と美術（1）」『日本経済新聞』（2021年1月10日付）
 - 「ミュージアムのちから」『京都新聞』（2020年8月1日付）
- ・テレビ
 - 『Core Kyoto 小川治兵衛の庭～癒し潤す 美の空間～』
(2020年10月1日 NHK WORLD-JAPAN)
 - 『明日に架ける橋～尾張七宝職人～』
(2021年3月3日ほか 東海テレビ)

③ インターネット、ホームページ

- ・展覧会の案内

- ・緊急事態宣言発令による臨時休館および会期変更の案内
- ・新型コロナウイルス等感染予防および拡散防止対策のご協力をお願いを掲示
- ・図録の販売（『並河靖之七宝記念館 館蔵品図録』、『七宝の美空間 庭園と建物』）
- ・京都市観光協会ホームページ《京なびネット》ほかでの掲載に参加

④ ミュージアムグッズの販売・促進事業

- ・現況のミュージアムグッズの見直しおよび新規製品の計画。

(6) 加盟団体

- ・京都市内博物館施設連絡協議会 ・京都市観光協会
- ・京都府文化財所有者等連絡協議会 ・京都画廊連合会
- ・京都府国登録文化財所有者の会
- ・京都観光推進協議会（京都・東山花灯路実行委員会、京都・嵐山花灯路実行委員会）

(7) 会員組織

並河靖之七宝記念館賛助会会員 20名

3 会議に関する事項

(1) 理事会

開催年月日等	議事事項	審議結果
令和2年6月1日 ルビノ京都堀川	第1号議案 令和元年度事業報告（案） 第2号議案 令和元年度収支決算（案） 第3号議案 定期預金（資産取得資金）の取崩し 第4号議案 評議員会の開催 第5号議案 利益相反取引の承認	承認可決 承認可決 承認可決 承認可決 承認可決
令和2年6月18日 ルビノ京都堀川	理事長及び常務理事の選定	
令和3年3月25日 ルビノ京都堀川	第1号議案 令和3年度事業計画（案） 第2号議案 令和3年度収支予算（案） 第3号議案 資金調達及び設備投資の見込み 第4号議案 監事の推薦 第5号議案 利益相反取引の承認 第6号議案 記念館耐震補強等準備資金（特定費用準備資金）の保有	承認可決 承認可決 承認可決 承認可決 承認可決 承認可決

(2) 評議員会

開催年月日等	議事事項	審議結果
令和2年6月18日 ルビノ京都堀川	第1号議案 令和元年度事業報告(案) 第2号議案 令和元年度収支決算(案) 第3号議案 評議員及び理事の選任	承認可決 承認可決 承認可決
令和3年3月25日 ルビノ京都堀川	第1号議案 令和3年度事業計画(案) 第2号議案 令和3年度収支予算(案) 第3号議案 監事の補欠選任	承認可決 承認可決 承認可決